



管理栄養士による 食生活、栄養改善のプログラム

健康と幸福のバランスが取れた、
一人ひとりの食生活づくりを支援します。

このようなニーズに応えます

- ・一人暮らし、高齢夫婦での暮らしで**食生活に不安**がある
- ・近頃**体重が減って、歩く力が弱ってきた**
- ・**糖尿病、腎臓病、心不全**などがあり、食事制限で困っている
- ・食事を準備するのが億劫で、**栄養バランスのことまで考えられない**
- ・**リハを受けている(受けたい)が、栄養状態が悪く、効果が期待できない**
- ・退院後、**寝たきり状態**になってしまい、困っている(リハと栄養の介入が必要)

特徴

- ・管理栄養士が栄養状態を定期的に確認、必要に応じて一人ひとりに合わせた、**栄養摂取方法の提案**
- ・ご本人、ご家族へ食生活づくりの相談や指導
- ・より良い食生活づくりが実現できるよう、デイサービス内でのフォローアップ(リハビリ、看護、介護職がバックアップ)
- ・ケアマネージャー、訪問サービスなどと緊密に情報共有し、自宅でも食生活づくりの支援ができるよう連携します

サポートハウスえん 伊東市松原771-12 0557-32-0117



サポートハウスえんの栄養サポート

サービス利用開始

開始時アセスメント

低栄養状態のリスクや普段の食生活状況などを伺います

栄養モニタリング

毎月の体重測定に加え、低栄養状態リスクに応じて1~3か月ごとに栄養状態、食事摂取状況をモニタリングします。

栄養カンファレンス（多職種）

スタッフ間でモニタリング内容を共有し、栄養状態や食事のとり方、嗜好などで新たな課題が発生していないかを検討します。

<課題なし>

<栄養改善の必要あり>

ご本人／ご家族／担当ケアマネジャーに報告

管理栄養士の訪問等

管理栄養士が課題解決に向けて、健康と幸福のバランスを考慮して詳細なアセスメント・栄養診断を実施します。

栄養改善計画

栄養診断の結果を踏まえて計画を立案。ニーズに応じて下記内容に取り組みます。

- ①栄養相談 無理なく対象者に合わせた栄養摂取方法を提案します
- ②食事内容 食事環境の見直しやデイサービスで「栄養特別食」を提供
- ③リハ栄養 「運動」「栄養」両面から機能の維持・改善に貢献します
- ④外部連携 他事業所との連携体制を構築していきます

計画実施

評価

継続が必要な場合は、計画の見直しなど実施。栄養改善後は、通常のモニタリングに戻ります。

栄養アセスメント（利用者全員）

50単位/月

栄養改善プログラム（該当者のみ）

200単位/回

※原則介護保険を利用して通所している方が対象ですが、自費での栄養相談も可能です